４月 21 日開催 オンラインセミナー

「COVID-19 が途上国のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスの現場に及ぼす影響」

世界各国で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、特に途上国の保健システムが危機的な状況を迎えている中、母子保健や家族計画を含むセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス（SRH）サービスにも COVID-19 の影響が日を追うごとに深刻になっています。

国際家族計画連盟（IPPF）に加盟する各国の家族計画協会からは、クリニックにおけるサービス提供の縮小、移動制限によるアウトリーチ（出張サービス）の停止、医療資器材や避妊具・避妊薬、保健スタッフの防護用具などが入手困難になっていることが報告されています。SRH の危機的状況に国際社会はどう対応していくべきなのでしょうか。

今回のオンラインセミナーでは、都市封鎖されている英国、ロンドンとマレーシアで勤務する国際家族計画連盟（IPPF）の日本人スタッフから、アジアを中心とした各国の状況や国際機関の対応についてお話を伺います。ぜひご参加ください。

日時：2020 年 4 月 21 日（火）　午後 5 時～6 時（日本時間）
会場：オンライン（ZOOM を利用。申込者に URL をご連絡します）
＊ZOOM が利用できない方は、Youtube ライブ視聴も可能です。ただし、Youtube では質問ができません。
言語：日本語
費用：無料
共催：公益財団法人ジョイセフ、国際家族計画連盟（IPPF）
申込：https://forms.gle/66cLhmDY8213RZfa8　（先着 100 名）

問い合わせ：
公益財団法人ジョイセフ　アドボカシーグループ　advocacy@joicfp.or.jp

スピーカー：

谷口百合さん（ロンドン在住）
国際家族計画連盟（IPPF）本部チーフ資金調達アドバイザー（アジア）

「国際機関として COVID-19 にどう立ち向かうか」

福田友子さん（マレーシア在住）
国際家族計画連盟（IPPF）東・東南アジア・大洋州地域事務局長

「アジア大洋州各国の現場でどんな影響が出ているか」

【ZOOM 使用に関する注意事項】

- 通信環境によっては、音声の途切れなど、不都合が生じる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ミーティングパスワードの発行を行い、安全に利用できるよう配慮します。また、個人名の表示については、公開されたくない場合にはイニシャル等に変更をお願いいたします。
- ZOOM が利用できない方や ZOOM 以外をご希望の方に、Youtube によるライブ配信も行います。ただし、質問はできませんので、Youtube で視聴される方はあらかじめ申込フォーム内に質問をご記載ください。

ジョイセフ JOICFP
世界の妊産婦と女性を守る

IPPF International Planned Parenthood Federation